

# 看護部通信 No.1

私達、看護部は新しい組織として誕生から3年目となりました。少ない人数から始まり、今は約100名近い仲間になります。色々ありました。みんなが一生懸命でした。目のまえの問題をひとつひとつ解決して、努力した結果が今です。これからは、地に足をつけ質を高めてゆくために何に取り組むかをじっくり考えて行きたいと思います。

今日は、私が担当している新人事制度について少しお話します。新しい制度は、平成22年度4月に導入されます。看護部は、キャリアラダーを用いた考課制度を実施していました。今回は、全職種（医師以外）が対象となり共通の評価表を用いることとなります。このことはとてもよいことだと思います。チーム医療を推進していく中で、それぞれの職種間での役割または目標などが明確になることは、互いを理解するにあたり効果的であると思います。しかし、制度とは創ることが目的ではなく、その制度を活用して組織全体が活性化できるようになることが、重要であると思います。組織全体を、活性化させるには職員のモチベーションアップを図らなければなりません。新人事制度では、各自が評価する側または評価される側になります。この評価能力を、確実に各自が身につけなければ、制度をうまく活用することは難しいと思います。今後、全職員の評価者訓練計画は実施されますが、導入後も継続して学習をすすめてゆくことが望ましいと思います。

私もそうですが、日本人はなかなか褒めるのが上手ではないと聞きます。いくつになっても、人から褒められればうれしいのは、私だけでしょうか・・・・・・  
よいことは、しっかりほめたり、感謝したり相手に言葉で伝え合う。  
そして、課題となることもお互いに話し合える職場環境でありたいと思います。

新人事制度が職員のモチベーションアップに効果が発揮されることを期待しているのは、私だけではないと思います。

副院長兼看護部長

上野 美恵子